



# 日 口 交 流

発行 : 特定非営利活動法人 日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14 麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax : 03 (5563) 0752



## ロシア語現地学習会レポート

近藤 麻美

この夏、8月4日から11日までロシア語現地学習会に参加した。

ハバロフスクは成田空港から直行便で3時間弱。ヨーロッパ調の建築物や聖堂があり、緑が多く色鮮やかでゆったりとした美しい街だ。太平洋国立大学は中心部から少し離れていて緑が更に多く、滞在先の寮の窓からは青々と繁る木々が見えた。気温は日中は暑くても25℃前後、夜は肌寒く感じるほどで、日本の灼熱に疲れていた身体には心地よかった。

大学での授業は1.5時間の2コマを5日間の計15時間で、3人の講師がそれぞれ時間を割り振って講義をしてくださった。基本的な文法を使った会話練習、極東ロシアを紹介するロシア語の映像を見てその内容について話すもの、発音と早口言葉の練習とロシアの唱歌を歌うというもので、慣れるまで難しいものもあったが、フレンドリーな雰囲気ですれぞれ異なったアプローチ方法で楽しみながら学習することができた。

午前の授業を終えると、午後は参加者たちで市内観光へ繰り出した。ロシア正教の教会、アムール川の遊覧船クルーズ、市場への買い物、博物館やビール工場の見学などで、なかでも特に私の記憶に残っているのは在ハバロフスク日本国総領事館への訪問と日本センターでのロシアの方たちとの交流イベントだ。

総領事館では、この街の現状と日本との関わりを歴史を交えながら紹介いただき、そのなかでハバロフスク在住の日本



日本センターで

人が40人程度ということも伺い、地理的に近いにも関わらずその少なさにも驚いた。

その後訪問した日本センターでは、事前に聞いていたものの実際に参加者と会ってみると想像以上に日本語が堪能な方が多くて、交わす言葉はほぼ日本語で申し訳なくなるほどで、熱心に日本について聞いたり話したり

してくれる姿にまた頭が下がる思いだった。参加者は30人以上で、話す時間が足りないほどだった。この時には日本から持ってきた浴衣を有志で着ていたのだが、とても好評で私も嬉しかった。毎日が色鮮やかで刺激的で、穏やかな時間の流れるハバロフスクで過ごすうちに、帰りたくないという思いが強まるばかりだった。

今回現地学習会に共に参加された方たちとはほぼ初対面だったが、それぞれロシア語学習のきっかけを語り合ったり、寮では毎晩テレビから流れてくるロシア語を聞きながら話をしたり、勉強方法などの情報を教え合ったりしたことは、日中の授業に加えて大いに刺激になった。

ロシア語を学び始めて1年足らずだったので語学力の不足は痛感したが、ロシアへの興味と関心は増すばかりだった。この学習会へ参加した経験を活かして、またロシアを訪れたいと考えている。